

揖保川の大規模氾濫を考える！

国・県・市町の防災担当者による意見交換 ～第5回『揖保川減災対策協議会』幹事会を開催～
— 姫路河川国道事務所 —

本協議会は揖保川において想定最大規模の降雨が起きた際に、堤防決壊等に伴う大規模浸水被害に備え、沿川市町と河川管理者である国・兵庫県等が連携・協力して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、揖保川において大規模氾濫が発生することを前提として**社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を継承・再構築すること**を目的としています。

第5回幹事会では、各機関の取組状況の情報共有や広域避難に関する意見交換を行ったほか、神戸地方気象台による「防災気象情報」に関する専門的な説明が行われました。

概要

対象河川：揖保川水系揖保川

- 日時：平成30年 2月23日（金）13：30～15：30
- 場所：姫路河川国道事務所
- 主催：姫路河川国道事務所 調査課（揖保川減災対策協議会事務局）
- 参加機関：姫路市 危機管理室、宍粟市 消防防災課、たつの市 危機管理課、太子町 企画政策課
兵庫県 中播磨県民センター 県民交流室、姫路土木事務所、西播磨県民局 総務防災課、
光都土木事務所、神戸地方気象台、姫路河川国道事務所

幹事会概要

第5回幹事会では、次回の協議会開催時期の調整や、水防法改正に伴う減災対策協議会の位置づけ変更（法定化）を確認したほか、防災教育の充実について各機関の取組や調整状況の確認を行いました。

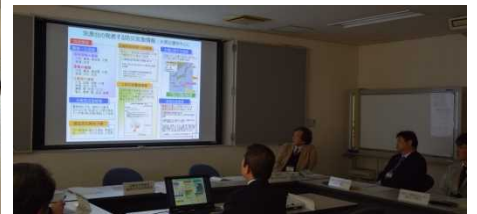
また、減災対策協議会の取組状況について意見交換を行い、L2洪水に対応したハザードマップ作成において記載する情報や避難場所の確保等に関する課題などについて活発な議論が交わされた他、神戸地方気象台による防災気象状況の講習や姫路河川国道事務所による浸水リスク提供についての説明などを行い、参加者の防災意識向上に取り組みました。



各機関との意見交換を行う幹事会の様子



河川管理者と市担当による議論



気象台による防災気象情報の説明



浸水リスク情報の提供



兵庫県担当からの意見提示



気象台への質問状況

【幹事会での主な意見等】

- ・小学校等での防災教育を推進するため、1校でも多くの調整を行いたい。
- ・最大規模洪水時に逃げる場所が無い地区に対するフォローが課題になる。
- ・兵庫県が実施している県民への各種調査も、防災意識の比較等で使えないか、検討が必要。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947
姫路市北条1-250
TEL 079-282-8211

